やまえこ

２０１１年
４月号

山内・春のチャリテイコンサート大成功！　　3月26日

当日の朝からは、春直前というのに、会場のダイヤモンド滋賀の裏山は吹雪いており…、お客様の来場を心配しましたが、200名を超える多くの方に来ていただき、喜んでいただくことが出来ました。

山内エコクラブからの2つの発表、絵巻物『野洲川物語』と子ども狂言『鈴鹿の子てんぐ』は、どちらも100点満点でしたね(本番に強いやまえこたち)。子ども達のがんばり、大人達の力と、このコンサートを支えてくださった有志者や多くの方の力とお客様の力がひとつになり(つながりと協働)、ふるさと山内が、すこし元気になった気がしました。まさに、地域の力です。がんばった子ども達と自分に拍手しましょう！そして、それを支える皆様に感謝です。皆様から、いただきました入場料と義援金10万5,662円を、土山支所と社会福祉協議会に子ども達が手渡しにいきました。被災された方々に、きっと山内からの心のエールが届くでしょうね。

水と土と農のフォーラム　　in　びわこホール　　４月２日

世界的な環境活動家であるバンダナ・シバ(インド)さんが来日されたフォーラムに、山内エコクラブの子ども達の活動の発表依頼を受け、参加しました。もちろん、発表は子ども達が演じた狂言でした。ホワイェで、いくつかのブース展示があり、そのお客様を釘付けにした子ども達の発表に、多くの学識者たちも、びっくりとされていました。コメンテーターの方から、「環境=自然にとらわれず、自分達を取り巻く地域(社会的、文化的環境)を見直し発信している活動」と高い評価を受けました。

午後から、大ホールであった嘉田知事とバンダナシバさん方々の講演の中では、「生物多様性と文化の多様性の結びつき」、自律型農業の発展、土壌微生物と健全な農業のプレゼンテーションなどあり、生物多様性が支える価値が、食卓を彩り、遊びとなり、神事を生み、文学にも反映されるとのことでした。多くの難しい話の中、バンダナさんの“We　are　part　of　nayure”という言葉は、心に響きました。今回の震災も交えた中、「人間がいかに科学技術を発展させ、その応用力を持っても、自然は征服できない。人間は、自然とともに生きていかなければならない。苦しみを分かち合い、仲良く未来を切り開く」というものでした。これは、子ども達が上演した、“鈴鹿の子天狗”にも少し意図されているものなんですよね。元気と勇気が出るフォーラムでした。

祝

やまえこの生みの親･現プロデューサー　井阪尚司さん、滋賀県議会へ！

４月 10 日の滋賀県議会議員選挙で、わがエコクラブの生みの親でもあります井阪尚司さんが、お隣の蒲生選挙区より出馬され、激戦の中、見事当選されました。やまえことしては、何もしていないけど、「えっへん！」って感じかな。嬉しい限りです。校長先生の顔から、政治家への転向とは、誰もがビックリ！！(激震)しましたね。滋賀県政に、人を大切にする優しく厳しい“いさか風”を吹かせてくださいね。やまえこへの参加は、今まで通り『いさか　さん』で行くようですよ。議員バッチの横にやまえこバッチ(製作予定)も付けてもらいましょう。これからも、よろしくお願いします。

あなたも仲間　夢と感動と潤いを届ける　山内エコクラブ　　随時メンバー募集してます。
事務局　　〒５２８－０２０８　滋賀県甲賀市土山町黒川 2063　　竜王真紀
URL:http://www3.to/yamaeco　　電話　090-7966－2262
メール　　ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp